

遠隔医療従事者研修事業

平成29年度予算案
6,640千円 (6,640千円)

【内容と狙い】

遠隔医療について、実施できる範囲の考え方や、実施するため必要となる機器等の知見に乏しい医療関係者が利用を控える実態もあることを踏まえ、遠隔医療に携わる医療従事者等を対象に、

- ①制度(医師法、診療報酬等)に関する講義
- ②技術(遠隔医療機器等)に関する講義
- ③実習
- ④ワークショップ

等による研修を実施し、遠隔医療に関する広範な知識と実践的手法を習得させることを目的とする。



●平成28年度の開催概要

【開催日】

平成28年11月11日（金）～13日（日）：大阪
平成28年11月25日（金）～27日（日）：東京

【対象者】

遠隔医療に携わる（予定も含む。）医療従事者等

- ・医療機関に勤務する医師、看護師、薬剤師等の医療従事者
- ・介護施設に勤務する介護職
- ・地方公共団体の医療担当部局等に勤務する職員
- ・その他遠隔医療に携わる者（例：保健師、情報システム担当者、システムベンダー職員）

【参加者】

約70名

(参考) 研修プログラム

1日目

コース名	科目名
遠隔医療入門	オリエンテーション（開講挨拶、研修概要）
	遠隔医療入門
	遠隔医療の制度（医師法、診療報酬）
	ワークショップ（レポート作成）
地域医療	地域事例 北海道
	地域医療における遠隔医療の展望
	遠隔医療の情報セキュリティとプライバシー
	地域プログラム論、全国調査（調査結果と地域医療モデル）
	地域事例 岩手県（ICT及び災害医療）
	ワークショップ（レポート作成）

2日目

コース名	科目名
技術基礎	医療ICT、システム企画・構築
	遠隔医療に用いる各種機器と標準技術
	遠隔医療システムの取組事例
	ワークショップ（レポート作成）
在宅医療	旭川医科大学の取組の紹介
	岩手医科大学の取組の紹介
	地域の遠隔医療立ち上げ論
	特別講演（在宅患者のための遠隔診療）
	遠隔診療実習
	ワークショップ（レポート作成）

3日目

コース名	科目名
制度・研究	遠隔医療の概況と課題
	遠隔医療の臨床研究
	特別講演（地域包括ケアと遠隔医療）
	ワークショップ（レポート作成）
モニタリング	モニタリングの基礎、呼吸器（CPAP）
	モニタリングの基礎、糖尿病及び健康指導
	モニタリングの基礎、テレナーシング
	モニタリングの基礎、循環器
	モニタリング機器を用いた慢性疾患管理指導
	ワークショップ（レポート作成）

資料2-5